

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑭安全対策・緊急時対応

- ◆ 子どもたちを安全に見守るには、普段から設備点検や軽微な事故を見逃さないことが大切。職員みんなの目で、安全確認、情報共有をするのが重要だと学んだ。職員にも得意不得意があっても大丈夫だという話を聞き、少し安心した。また、周囲の方とヒヤリ体験を話し合い、有意義な時間になった。遊びの中に危険や災害時の対応を取り入れて伝えるのはとてもいい方法だと思ったので、参考にしたい。
- ◆ 児童クラブでは、子どもが安心して過ごせる環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避できるように育成支援をしなければならないことを理解しました。事故やケガについては、防止に向けた対策や発生時の対応に関するマニュアルを作成し、日々の安全点検と環境整備を職員で協力し合っておこなう重要性を学びました。また、安全管理能力の向上には、定期的に行う消防や防災訓練が必要であると認識したので、取り組んでいきたいです。
- ◆ 事故は、予測できない出来事を子どもの目線になって見ていくことが必要であると感じた。安全対策・事故防止に関することは、子ども自身が危険な箇所を把握し、安全管理ができるようになることが一番の目標であり、重要であると思う。職員と一緒に考えていきたい。危険予測、事故対応のフローチャートは、とてもわかりやすく見やすいものだったので、参考にしていきたい。
- ◆ 安全対策及び緊急時対応のあり方・具体的な取組の内容・知っておくべき法令等について学びました。「ちょ・きん・さ」の法則（ちょっとストップ・きちんと説明・さっと済ます）と「3つの眼」（鳥の眼、虫の眼、魚の眼）が参考になった。事故防止のためには、小さな事でも大きく捉えて、小さく済ませるようにすることが大事だとわかったので、参考にしていきたいです。
- ◆ 他の施設のヒヤリハットを聞くことができ、ありがたかったです。施設によって設備や環境が違うことで、様々なヒヤリハットがあり、対処方法、事前対策などとても勉強になりました。誰かがやっているだろう、そして、大丈夫だろうという安易な考え方は、事故を繰り返してしまうので、人任せにしない、ヒヤリハットに敏感になる、いつでもどこでも起きうると考えることを大切に、常に緊張感を持って取り組んでいきたいと思いました。